

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 9 月 5 日

番号	1	質問者	足立 義美	タイトル	藤岡市政の検証と今後の課題
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	藤岡市政の検証と今後の課題について	<p>藤岡市政が 3 年半を迎えました。この間、清風の絆は市政運営にかかる提言等を行ってきました。そこで市政の進む方向と提言等に関する考えをお尋ねします。</p> <p>(1) すべての住民の皆さんが幸せを実感できるまちづくりに全力で取り組んでこられたと存じます。市民が幸せを実感できる施策が進展しているとお考えでしょうか。</p> <p>(2) 児童館の整備に関し意欲を示されていましたが、現状と今後の計画についてお聞かせください。</p> <p>(3) 「儲ける農業」の推進を目指し、特産品の強化等を図ってこられましたが、どのような成果や前進が見られますか。</p> <p>(4) 企業誘致等で若者の地域定着環境の整備を進めるとされています。新産業団地の基本設計や基本計画の策定を踏まえ用地買収等に向かわれるようですが、進捗状況についてお聞かせください。</p> <p>(5) 女性が地域や職場で生き生きと躍動する社会を目指していくとされていますが、前進していますか。</p> <p>(6) 女性の U ターン就業率が低い現実があります。女性が働きやすい就業環境を整えるため、どのような施策が行われ、効果についてどうお感じですか。</p> <p>(7) 保育士の確保・定着に苦慮されていますが、対策と現状の課題についてお伺いします。</p> <p>(8) ZERO カーボンシティ朝来計画の策定を提言していますが、何か検討されていることはありますか。</p>			市長

	<p>(9) ふるさと寄附金は、令和5年度は、4.7億円余りと大きく伸びましたが、どのようなことが影響したと考えますか。</p> <p>(10) 万博を見据えた着地型観光・回遊型観光の振興に取り組むべきと提言しています。現在の取り組み状況や今後の方針をお聞かせ下さい。</p>	
2 公共施設再配置について	<p>(1) ジュピターホールの大規模改修や複合施設としての生野庁舎の整備が始まりました。公共施設再配置計画では、大幅な削減が求められていますが、全体計画の進捗状況はいかがですか。</p> <p>(2) 全天候型運動施設の整備については、屋根付き運動施設として整備したいとのことですが、現在の検討についてお伺いします。</p> <p>(3) 旧梁瀬医療センターの跡地整備について、民間からの提案を受けて、現在検討が進められていると存じます。進捗状況と今後の方向性についてお聞かせください。</p> <p>(4) 旧和田山医療センターの跡地整備について、民間活力を導入して、朝来市の観光拠点にふさわしいものを整備すべきと考えますがいかがですか。</p>	市長
3 地域自治協議会の活性化について	<p>(1) 朝来市自治基本条例検証特別委員会は、本条例が市民に十分理解されないまま今日に至ったとし、今後は、啓発チラシやパンフレットを作成するなどの方法で市民等に、より身近な条例となるよう努める必要があるとしていますが、市は何か対応を考えておられますか。</p> <p>(2) 朝来市自治基本条例審議会は、市の内部検証に基づき制度や運用状況について検証されましたが、より効果的な方法について検討する必要があると考えますがいかがですか。</p> <p>(3) 現在は地域自治包括交付金が交付されています。近年、交付金はほぼ横ばいの状況です。活性化を図るため大幅な支援増が必要だと考えますがいかがで</p>	市長

	<p>すか。</p> <p>(4) 本来、事業に対して補助すべきで、事業支援の部分を増やせば地域の創意工夫が生まれるのではと考えますがいかがですか。</p> <p>(5) 地域自治協議会に予算提案権を付与することについて、どのような見解をお持ちですか。</p>	
--	--	--

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 9 月 5 日

番号	2	質問者	嵯峨山 博	タイトル	幸せを実感できるまちの実現を	
質問事項		質問要旨				答弁を 求める者
1	決算状況について	<p>(1) 令和 5 年度の決算の状況について説明を受けました。 本市の財政状況は、歳入面で人口減少等による市税や地方交付税の減少が危惧され、財源確保についての取組を進める必要があるとされています。 本市の財政状況を改善し、財源を確保するための施策についての評価と将来的展望、及び必要な対応策について伺います。</p> <p>(2) 税収拡大策のほか、財源を確保するための施策としては、公共施設や公有地の有効活用について、新たな収入源を創出し収益を得るとともに運営コストを削減する取組が必要と考えますがご所見を伺います。</p> <p>(3) 経常収支比率の変動についての報告からは、収入が減少している一方で支出も増加する見通しがあるため、財政の健全化を保つために収入の確保とともに支出の抑制が重要とされています。支出増加を抑制するための施策として、まず考えるべきは人件費の対応です。決算報告では、人件費の増加は現時点では小幅なものですが、将来的にはさらに増加するリスクがあります。人件費についての現状認識と将来的展望を伺います。</p> <p>(4) その他、支出増加を抑制するための施策として、業務の効率化と行政サービスの見直しが効果的と考えるが、ご所見を伺います。</p> <p>(5) 財政調整基金については、令和 3 年度が 4 億円、4 年度が 6 億円、5 年度が 2 億 5 千万であり蓄えるばかりではなく、市民サービスに還元すべきであると考えますがご所見を伺います。</p> <p>(6) 令和 5 年度は「幸せと暮らしを守り指導する予算」</p>				市長

	<p>として「妊娠・出産・子育て支援」「高齢者施策」「経済対策」「未来への対策」の4本柱を重要施策実施され、6年度はこれらをさらに深化と加速化を図り、先送りできない課題に対して、本市の将来を見据え挑戦としていくとして現在、事業展開実施していますが、人口減少社会において、出生・育児に関わる事業に対するこれまでの成果を伺います。</p> <p>(7) 令和5年度は重要施策として子ども子育て施策に取り組みました。高校生等までの医療費無償化など評価できる点はあるが、市長が考える課題は何かを伺います。</p> <p>(8) 今夏も暑い日が続き、子どもたちの夏季休暇中など公園で遊ぶにしても屋外では熱中症の恐れがあり、また、遊具も熱くなり利用できない。屋内遊ぶ場を有している他市へ行かなければならない。など屋内での遊べる場所を求める声があり、再三市長へ提案させていただいている。まずは屋外の公園整備をされてきたことも理解はするが、ご所見を伺います</p> <p>(9) 子ども保育料については、第二子は半額負担から無償にされました。第一子から保育料を無償にできないか。と言われる子育て世代からの声がある。市長のご所見を伺います。</p>	
2 防災について	<p>(1) 台風10号により避難訓練は中止となったが、今回実施しようとしていた訓練は、市民に何を求め、学ばせようとしたのかを伺います。</p> <p>(2) 自助、共助の活動を強化しようとする当局の考えと、公助を求める市民の考えに温度差を感じる。各区区長、防災委員に当局の見解を示すなどを行う必要があると考えるが、ご所見をお伺いします。</p> <p>(3) 台風10号について、準備段階から会議を開催され、様々な災害を想定されてきたと思うが、課題等はないか。この台風で学んだこと、市民へ伝えなければならないこと等はないか。</p> <p>(4) 各区区長や各区防災委員に情報共有や周知するな</p>	市 長

	<p>ど、今回の反省を活かし、来年度の避難訓練や災害に対応できる体制づくり、体制整備が必要であると考えるが、ご所見を伺います。</p>	
--	---	--

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 5 日

番号	1	質問者	尾崎里美	タイトル	朝来市の高齢者福祉について
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	認知症について	<p>(1) 朝来市には高齢者は何人おられますか</p> <p>(2) 年齢にこだわらず働ける環境作りを市として考えておられますか</p> <p>(3) 朝来市には介護認定を受けておられる方はどれ程おられますか</p> <p>(4) 朝来市には認知症の方はどれ程おられますか</p> <p>(5) 朝来市の取り組みについて市民の方にどの様に周知されていますか。また継続して行っている事業の成果は表れているのでしょうか。</p> <p>(6) 認知症基本法が制定されて一年以上が経過しました。朝来市としてどの様な取り組みをされていますか。</p> <p>(7) 朝来市で行っている認知症高齢者等 GPS 機能付端末費用助成事業の内容とはどんなものですか</p> <p>(8) 朝来市で行っている個人賠償責任保険の説明をして下さい。</p>			市長
2	高齢者虐待について	<p>(1) 朝来市として高齢者虐待の基準は設けられているのでしょうか。</p> <p>(2) 朝来市において高齢者虐待にあたる方はどれ程おられますか。</p> <p>(3) 高齢者虐待に該当されている方の対応はどの様にされていますか。</p> <p>(4) 虐待により措置が必要な方で要介護 3 以上の方は特別養護老人ホーム等がありますがそれ以外の方の対応はどの様にされているのでしょうか</p>			

	(5) 虐待により朝来市が措置と認めた場合、どのような支援がありますか。	
3 第9期介護保険3カ年計画について	<p>(1) 第9期介護保険が始まっています。基本理念に基づいて5つの基本目標を定めていますが人生を全うするための体制づくりとありますが、どのような体制作りをされているのでしょうか。</p> <p>(2) 住みやすい環境づくりの推進について生活保護の方の対応</p> <p>(3) 家族介護用品支給事業についてですが、施設に入っている方も対象なののでしょうか。</p> <p>(4) 施設入居者に対しても支給方法を検討されてはどうか。</p> <p>(5) 要介護者、元気高齢者の通いの場の確保に向け支援とありますが通いの場までの交通手段はどうなっていますか。</p>	

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 5 日

番号	2	質問者	湊本 稔	タイトル	日本遺産活用のとりくみ
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	日本遺産の活用について	(1) 「銀の馬車道・鉱石の道」日本遺産認定継続にあたって文化庁の審査委員から指摘された意見に、どのように取り組んでいるのか。 (2) 学者等の専門家が提案する「銀の馬車道・鉱石の道」の取り組みについて、どのように対応するのか。 (3) 今年もサイクルトレインが開催されるが、市としてどのように対応されるのか。			市長
2	実践的な防災の取り組みを	(1) 能登半島地震をはじめ、過去いくつかの大震災に市として支援されてきたが、その取り組みから得た教訓と課題について明らかにされたい。 (2) 災害時の避難所設営・運営について、どのように準備・計画されているのか。			市長
3	J R 播但線の利用促進について	(1) いくの自治協等が播但線の乗車促進運動に取り組んでいるが、市としてどのように対応するのか。 (2) 市内各駅前広場及び駅舎待合室の活用について、どのように取り組むのか。			市長

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 5 日

番号	3	質問者	吉田 俊平	タイトル	行政は変わるべきか
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	土づくりセンターについて	(1)	平成 28 年 6 月定例会で補助採択に伴い現計予算を組み換え 38,347 千円の増額し総額を 83,291 千円に修正して改修した攪拌装置は平成 28 年以降で不具合や故障頻度はどの程度で、連続運転領域及び使用制限領域は幾らか。また、その他にも施設や設備が不具合や故障を来していないか。		市長
		(2)	令和 5 年度当初予算で予算化された小袋堆肥詰機改修費の予算執行はどうなっているか。		
		(3)	市内の畜産農家から排出されている牛糞の処理できている割合と、施設や設備の処理能力はどうなっているか。		
2	都市開発について	(1)	令和 6 年度予算で、国道 312 号線周辺の企業意向調査を商工リサーチに委託しているが、その内容をどの様にする考えか。		市長
		(2)	単に現状の企業意向だけでは新たな需要の創出を喚起する必要があることから、国が推進しているスマートシティ関連事業の採択を目指す必要があると考えるがどうか。		
3	あさ GO について	(1)	デマンド型乗合交通の試験運行が本年 4 月 1 日から生野町で始まったが、朝来市デマンド型乗合自動車の運行に関する条例では第 5 条で「デマンド型乗合自動車を利用しようとする者(以下「利用者」という。)は、あらかじめ予約しなければならない。」とされているが、市民が当日に初めて利用しようとする場合には支所等で利用登録を事前にしなければ利用ができない現状を改める必要があるのではないか。		市長

<p>4 農業振興について</p>	<p>(1) 昨今の夏季気温の上昇に伴う高温障害が水稻において看過できない状況にあるが、乳白米発生率はどの様になっているか。また、乳白米による農家の減収はどの程度か。</p> <p>(2) 来年度から兵庫県がキヌヒカリを品種改良した高温耐性米を一般栽培させる予定とのことであるが、朝来市でも兵系の 91 号若しくは 92 号の栽培促進支援を実施すべきではないか。</p>	<p>市長</p>
<p>5 行政改革について</p>	<p>(1) 朝来市の行政は変えるべきか伺います。</p>	<p>市長</p>

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 9 日

番号	4	質問者	水田 文夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	外国人労働者 や受け入れ企 業に支援を	<p>(1) 円安が続いています。市内で影響のある企業はありますか。困っている企業がある場合、その支援はされていますか。</p> <p>(2) 2024 年 9 月 1 日現在で、市内におられる外国人住民は何人ですか。全体数と上位 3 か国の国別人数は何人ですか。</p> <p>(3) 外国人住民の就労先は、製造業、建設業、サービス業、農業、介護・福祉関係等の分野ごとに、それぞれ何人が働いておられますか。</p> <p>(4) 市内の外国人労働者の皆さんは、多くが、日本で働き実家(母国)へ仕送りされていると聞いています。同じ金額を自国通貨に換算した場合、円安は送金額の減少を意味します。円安の中で、自国通貨で一定額の仕送りをすることで困っておられる方はいませんか。その支援は考えられていますか。</p> <p>(5) 6 月定例会で外国人住民が朝来市の若者人口の底上げになっていることについて、市長は、「市内の事業者の人材確保の中で、外国人の研修生、それからまた技能実習生を受けるなど大きな力であり、朝来市の地域経済の一端を担っていただいていると思っております」と答えられています。 生産年齢人口の減少に伴い製造業、介護などでの労働力の確保に苦勞されており、この状況に対処するため、多くの企業が海外からの労働力を受け入れる道を選択しています。そのような企業への支援方は、何かお考えですか。</p>			市 長
2	無人駅対策に ついて	<p>(1) 市内には 6 駅ありますが、和田山駅を除く 5 駅が無人駅です。この無人駅のうち青倉駅を除く 4 駅では、市や観光協会が乗車券の販売を行っています。無人駅は市がシルバーなどに委託して券売と清掃を</p>			市 長

	<p>していますが、販売手数料として JR から 5 パーセント程度が市の収入になります。市職員などの公務旅行などの乗車券は無人駅で買われていますか。</p> <p>(2) 梁瀬、青倉、新井駅は、待合にクーラーがなく、猛暑の中、列車待ちのお客様がおられました。梁瀬、新井駅には待合にはスペースもあることから、待合にネット環境と空調を整え、コワーキングスペースとして整備してはどうですか。</p> <p>(3) 梁瀬駅には、改札を出て右の奥にトイレが一か所、それも男女共用で和式しかなかった。整備する必要はないのか。</p> <p>(4) 特急の止まらない梁瀬、青倉、新井駅には、交通系のカードで乗車できない。設置に関して、どのように取り組んでいるのか。</p>	
<p>3 デマンド型乗合交通「あさGO」について</p>	<p>(1) 生野エリアの試験運航実績、6月は597人が利用され、うち195人(32.7%)が通院利用されており最も多いが、通院は生野エリア内の通院ですか。神崎病院、朝来医療センター等エリア外の通院は、どのくらいありますか。</p> <p>(2) 7月21日に開催された地域公共交通ワークショップ24人が参加されていますが、生野高校、関西大学の学生以外の参加者は何人でしたか。</p> <p>(3) ワークショップの中で「4月から神姫バスが減便され、神崎病院など行きにくくなった」、「デマンドは、エリアを超えて運行してほしい」、「特急利用を促進するならデマンドバスから乗り換えできるようにする」などの意見がありますが、エリアをこえての運行はできませんか。</p> <p>(4) また、「JRを利用して飲みに行ったり、通院したりすると、最終17:30では使いにくい」とのワークショップの意見のほか、朝来エリアは19:00以降のタクシー運行がない。最終21:00ごろまでの運行はできないか。</p>	<p>市長</p>

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 9 日

番号	5	質問者	加藤 貴之	タイトル	あるものを活かそう
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1 開かれた朝来市を	<p>(1) 情報公開および広聴について</p> <p>①「対話で拓く朝来市の未来」実現のためには、市民への徹底的な情報公開と市民からの積極的な広聴が重要と考えるが市長の基本的な考えを問う。</p> <p>②市ホームページについて。ホームページがリニューアルされてから合計何ページが公開されたか。そのうち、非公開または削除されたものは何ページあるか。なぜ削除されるのか。一切削除する必要はないと考えるがいかがか。</p> <p>③情報発信について。第3次総合計画では「事業実施のプロセス等を現在進行形で情報発信する」と計画しているが、その通り組み状況を問う。</p> <p>④例規集について。ホームページ上の例規集の更新に時間がかかり市民に最新の情報が伝わっていない。条例制定・改正後すぐに反映されるシステムへ変更すべきと考えるがいかがか。</p> <p>⑤パブリックコメントについて。現在、意見聴取の対象として税や手数料に関することが除外されているが、市民生活に直結する事項である。これらを対象に含めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 公共施設の活用について</p> <p>①朝来市への来訪者から、授乳やおむつ替えができる場所がわからないという声を聞く。平成27年12月議会で上田議員から「赤ちゃんの駅」の提案をしているがその後の検討状況を問う。</p> <p>② 和田山高校の生徒から、駅周辺に居場所が欲しいという声を聞く。市役所の空き会議室を高校生等の自習室として解放することを提案するがどう考えるか。</p>			市長	

<p>2 あさGOと一歩先の未来</p>	<p>(1) 市ではデマンド交通「あさGO」の体系が確立されつつある。一方で福祉事業者や家族からは送迎の負担を訴える声がある。そこでもう一歩進んで、「共創・MaaS」といった観点で多様な関係者を巻き込んで移動環境を進化させることが今後必要だと考えるが市長の見解を問う。</p> <p>(2) スクールバスへ一般市民も混乗したいという声があるが実現可能か。あるいはスクールバスの空き時間を病院通院用の乗合バスに使うことは可能か。</p> <p>(3) 病院の待ち時間が読めないためバスの帰りの予約を取りづらいという声がある。あさGOの予約と市内病院の予約状況を連携させ、帰りのバスの時間を予測できるシステムの開発をしてはどうか。</p> <p>(4) 温泉施設等へ個人個人バラバラにあさGOで行くために乗合バスの効率性が発揮できていないという課題がある。グループを作って乗り合って温泉に行くことを市として誘導してはどうか。</p> <p>(5) あさGOの3つのエリアの主要な交通結節点はそれぞれどこか。交通結節点の乗り換え待ち環境の整備が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(6) 事業者を超えた共同送迎を目指して、送迎を行う関係者による協議会を発足することを提案するがいかがか。</p>	<p>市長 教育長</p>
----------------------	--	-------------------

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 9 日

番号	6	質問者	松井道信	タイトル	誰一人取り残さない社会に向けて	
質問事項			質問要旨			答弁を求める者
1	誰一人取り残さない共生社会の形成に向けて	<p>(1) ノーマライゼーションという言葉があるが、障害は本人の疾病や機能不全という「個人因子」だけが原因ではなく、社会の側にも生活のしづらさを生んでいる「環境因子」があるとされている。その人が暮らす場所によってバリアフリーは異なり、生活のしづらさは異なってくるが本市の場合はどうか。本市の対応を問う。</p> <p>(2) ノーマライゼーションの基本原理は 8 つの原則で示されている。それは施設で社会から隔離されて暮らすのではなしに、普通の地域で普通の家に住み、地域の人達と交流しながら生活すること、を挙げている。健幸を掲げている朝来市での取り組みはどうか。</p> <p>(3) 未来の街を見据えた施策、つまりその時だけという一過性で終わるものではなく、時間はかかるけれども継続して取り組むまちづくり。このことは首長によるリーダーシップによるところが大きい。自分達のまちのまちづくりはこうあるべきだと、市全体を動かしていこうとする仕組み・考え方が、未来の朝来市づくりに必要であると感じるが、本市の場合はどうか。</p> <p>(4) 「社会的孤立」に対応するためには、つながり続けることを目的とするする支援、「伴走型支援」の重要性が指摘されている。専門人材の育成や制度の整備といった環境づくり、また IT 技術を活用した効果的な支援が求められていると思うがどうか。</p> <p>(5) 大人の引きこもり問題、特に「8050 問題」と言われている現象は現代社会において深刻な問題だ。早期発見と支援が最も重要と考えるが、本市においてはどうか。実態把握をしているか。</p>	市長 教育長			

- | | |
|--|--|
| <p>(6) 本市の自殺率の高さ、但馬ではこの朝来市の値が異常に高い。本市ではどこにどのような違いがあると認識しているのか。</p> <p>(7) 本市の自殺の傾向として、女性よりも男性の割合が圧倒的に高く、男性は女性の3倍以上であり、その手段もほとんどが縊死によるもので、年齢的に自殺が多いとされているのは50才から60才代の男性であることがわかる。どこかに根本的な要因があるのではないか。</p> <p>(8) 情報ツールの活用について、世代間格差、知識格差の壁をなくすことも、共生社会の形成に向けて重要なファクターと考えるがどうか。</p> <p>(9) 市民を対象に様々な文化教室やセミナーなどが本市の施設で開かれている。こうした今までのコミュニティ形成に加え、インターネットの普及から新たなオンラインコミュニティの形成も進んでいる。この2つのコミュニティの違いや連携について考えたことはあるか。本市として多様なニーズに対応した集まる場所の提供も今後は更に必要になってくるものとするが、どうか。</p> <p>(10) 高齢者の生きがいづくりは、健康寿命の延伸や社会参加促進のためにも重要な課題だ。しかし近年では、地域の高齢化が進み、多くの地域で老人会の解散が進んでいる現状がある。こうしたことは地域コミュニティの弱体化や崩壊、更には高齢者の孤立化や福祉の低下に繋がる。新たなコミュニティを立ち上げる支援活動や持続可能な仕組みづくりを考える必要があるのではないか。</p> <p>(11) 世代間交流の促進。地域教育は重要であり、地域社会にとっても必要だ。ここに高齢者との交流を取り組むことは非常に有益だと思う。コミュニティの活性化だけでなく、誰も取り残されない社会実現に向かう施策に繋がるのではないか。</p> | |
|--|--|

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 9 日

番号	7	質問者	上田 幸広	タイトル	暮らしやすいまちのために
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	選択的夫婦別姓制度について	(1) 市長の選択的夫婦別姓制度についての見解を伺う。 (2) ジェンダーバイアスの解消について伺う。 (3) 朝来市の婚姻届けの記入例も夫婦の氏が「夫・妻」のどちらでも選択できることが理解できるように、見直されるべきと考えるが、市長のご所見を伺う。			市長
2	「マイナ保険証」の普及について	(1) 本年 12 月 2 日から従来の「健康保険証」からマイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行されるが、現在朝来市におけるマイナンバーカードの保有率を伺う。 (2) 「マイナ保険証」の市民の利用率について伺う。 (3) 「マイナ保険証」移行でのメリットについて伺う。 (4) 「マイナ保険証」の利用促進について市民に対し正しい情報発信をどの様に行っていくのか伺う。 (5) マイナンバーカードを取得していない高齢者への取得支援について取組の現状を伺う。 (6) 「高齢者施設等に対するマイナンバーカードの取得支援」の取組状況について伺う。 (7) 「顔認証マイナンバーカード」の申請について朝来市の対応を伺う。			市長
3	AED について	(1) 市内の AED の設置状況について伺う。 (2) 市内の AED の設置場所を全国 AED マップに登録すべきと考えるが市長のご所見を伺う。 (3) AED 救命講習会について現状を伺う。			市長

	<p>(4) AED の利用実績について伺う。</p> <p>(5) 傷病者が女性の場合、AED 使用時プライバシーが守られるのか伺う。</p> <p>(6) AED に三角巾の配備を行うべきと考えるが、市長のご所見を伺う。</p>	
4 公共工事の発注方式について	<p>(1) ここ数年の公共工事の発注方式について伺う。</p> <p>(2) 一括発注と分離発注の違い、メリット・デメリットについて伺う。</p> <p>(3) 市内経済振興のために分離発注を主とすべきと考えるが市長のご所見を伺う。</p>	市長

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 9 日

番号	8	質問者	森下 恒夫	タイトル	幸せが循環する日はいつ来るか
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	農業の未来は	<p>(1) 儲かる農業の実状及び見通しは</p> <p>(2) 朝来市の米の生産高の過去 5 年間の推移は農林振興課提出の資料によると、4,500 トン/年と安定している。販売額は約 10 億であるが採算性が極めて低く離農につながっている。この問題の解決策は</p> <p>(3) 朝来市の主たる野菜の生産高の過去 5 年間の推移を見るとネギが一番多く 200 トン/年にせまっている。今後の見通しは。付加価値は高いと言われているが、作業環境は厳しい。省力化に注力すべきと思うが方策は</p> <p>(4) 放棄田の過去 5 年間の推移を見ると 5 年で 153ha が農地から除外され、令和 5 年現在で有休農地は 43ha である。これからも益々増加するものと思われるが対策は</p> <p>(5) 有休農地は増加の一途。農地の維持が必要であるなら公社化して取組むのも一つの方法と考えるが如何か。特に中山間地域では担い手が無く、法人化も集落営農等も無理である。</p> <p>(6) オペレーターを養成し、できるところからスマート農業に取り組んではどうか。まずは草刈りから始めるのはどうでしょう。中山間地域の高い法面の草刈り作業は過酷で危険です。</p>			市長
2	市内経済の未来は	<p>(1) 市内 GDP の過去 5 年の推移は。どう分析しているのか。</p> <p>(2) 市内企業における雇用の実態は。有効求人倍率は。企業からは、人材不足と言う声をよく聞くが、その対策は</p>			市長

	<p>(3) 朝来市の平均所得とその評価は。所得が低いから若者は都会へと出て行くという悪循環を断ち切る手立てを考える必要があると思うが、所見は</p> <p>(4) ハローワークのデータによると、姫路市の平均所得は県下9位で347万円余り、一方朝来市は36位で283万円余りと63万円余りの差がある。姫路市への通勤可能な交通手段が朝来市の存続の鍵となると考えるが如何か</p> <p>(5) 工業団地計画はどこまで進んでいるか。和田山は交通の要衝と言われて来た。今でもそう考えるなら物流拠点が適当と思うが所見は</p>	
<p>3 コミュニティの未来は</p>	<p>(1) 集落の維持が困難と予想される集落の数とその人口は、そう判断する基準は</p> <p>(2) 集落ごとに意向を調査し希望を満たす移転先や移転の方法等を検討しておくべきと考えるが如何か</p> <p>(3) デマンドバスの運行が始まった。集落移転とデマンドバスとのメリット、デメリットを比較し費用対効果の検討を十分する必要があると思うが</p> <p>(4) 自治協議会がマンネリ化していると言う話が聞かれる。又、災害時の自治協議会の役割り、指揮命令等不明確な点もある。原点に帰って検討、見直しが必要と思うが所見は</p>	<p>市長</p>
<p>4 朝来市の未来は</p>	<p>(1) 人口減少、空き家の増加、高齢化、交通不便等々心配は枚挙に限りが無い。これらの問題に解決策を見つけ出すのは朝来市の頭脳であるべき企画部門であろう。現状で良いとお考えか、私は体制が不十分だと思います。シンクタンクとしての機能強化を図る考えは</p>	<p>市長</p>

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 10 日

番号	9	質問者	横尾 正信	タイトル	政治家の政治倫理のあり方
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	政治家の政治 倫理のあり方	(1) 兵庫県知事の言動に対して県議会百条委員会が設置 されて、審査が進んでいる。一連の県の騒動について どう評価しているか (2) 朝来市でも頻発する議員による職員への各種ハラス メントについてどう考えるか、またいかに対処する のか (3) 全国でも首長や議員によるハラスメントが頻発して いる。どう考えるか			市長

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 10 日

番号	10	質問者	藤本 邦彦	タイトル	地域の宝を守り活かす取組を
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	アグリツーリズムなど体験型観光について	<p>(1) 高校生議会において「アグリツーリズムを活用した地域活性化を進めては」との高校生議員の提案を頂いた。大変重要な課題であると考えている。 朝来市はアグリツーリズムについてどの様に位置付けているか。 農業体験、自然体験、田舎体験などをメニューとした体験型観光について、どの様に評価し、今後どの様に進めようとされているか。</p> <p>(2) アグリツーリズムなど、体験型観光を進めていく上で、どの様なことが課題となっているか。 農泊などの宿泊のための取組も必要となるがどの様にお考えか。</p> <p>(3) 朝来市のポテンシャル、可能性は大きいと考えるが、取り組むには困難な点も多い。農作業体験、自然体験の現場では地域の方や農家の方の協力が必要。協力者の存在が大変重要なポイントであり人材の確保こそが大きな課題と言える。 そこで、アグリツーリズムの魅力や可能性についての説明会や、実践者の報告会を行うなど、関心を持つ市民の方への情報提供の場を設けることが必要ではないか。特に成功事例を広く市民の皆様にお知らせするなどの取組が必要ではないかと考える。 また、アグリツーリズムが事業として成り立つためには、この事業に取り組まれる方の収入が十分でなければならない。事業の成功モデルを増やすことで、大変魅力的で夢のある事業であることを証明し、周知できれば、取組はもっと増えるかもしれない。 どの様にお考えか。</p> <p>(4) 本年 7 月、本市はオーガニックビレッジ宣言を行なったが、アグリツーリズムなどの取組に積極的に活用できると思われるがどうか。</p>			市長

	<p>(5) アグリツーリズムの取組は、田舎暮らしに興味を持つ方の、朝来市への移住を決めるきっかけにもなっている。実際に市内での農業体験イベントをきっかけに移住された方も多くおられる。</p> <p>観光推進の事業であると同時に、移住推進の事業として、また、農業活性化の事業として、朝来市にとって大変重要な施策であると考えているが、今後の取組についてどの様に進めていくお考えか伺う。</p>	
<p>2 地域の歴史文化遺産を守る「地域計画」が必要</p>	<p>(1) 地域の歴史文化遺産の保全について伺う。</p> <p>国、県、市などの文化財指定を受けている歴史文化遺産の保全管理はどの様に行われているか。</p> <p>(2) 文化財指定を受けていない保全すべき歴史文化遺産として、どの様なものがあるとお考えか。</p> <p>(3) 文化財指定を受けていない保全すべき歴史文化遺産について、保全方法について伺う。また、保全できているもの、保全環境が良くないものなど、どの様に把握されているか。</p> <p>(4) 地域コミュニティの高齢化、担い手の減少などにより、歴史文化遺産の保全管理ができなくなっている、あるいはできなくなりつつあるのではないか。その様な現状を把握されているか。</p> <p>(5) 地域の歴史文化遺産を将来にわたって保全していくためには、「地域計画」が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の守るべき歴史文化遺産全ての情報を把握。 ・どの様に誰によって保全されてきたか。 ・現状はどの様な保全状況か。 ・今後どの様に保全するか。保全できるのか。 ・保全するためにどの様な取り組みが必要で誰が取り組みの主体となるのか。 <p>などなど、全ての歴史文化遺産について明確化する作業を行うべきと思うがどの様にお考えか。</p> <p>(6) 地域の歴史文化遺産を今後も守り続けるのは地域コミュニティであり、地域コミュニティの強化こそが貴重な歴史文化遺産を守るための最重要の課題であると考えている。地域コミュニティをどの様に強化するのか。市長のお考えを伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 10 日

番号	11	質問者	藤原 正伸	タイトル	財政運営戦略
質問事項		質問要旨			答弁を 求める 者
1	令和 5 年度決算の状況から	<p>令和 5 年度の決算の状況について説明を受けました。</p> <p>(1) 本市の財政状況は、歳入面で人口減少等による市税や地方交付税の減少が危惧され、財源確保についての取組を進める必要があるとされています。本市の財政状況を改善し、財源を確保するための施策として、まず重要なのは税収の拡大策ですが、そのほかにも財源の確保に向けて有効な施策が求められていると思います。市長はどのような施策を検討されているか、今後どのような方向性で財政運営していくお考えか、ご所見を伺います。</p> <p>(2) 決算報告によると、人件費の増加は現時点では小幅にとどまっていますが、将来的にはさらに増加するリスクが指摘されています。市の財政健全化を維持するために、人件費についての現状認識と、今後どのように対応していくお考えか、ご所見を伺います。</p> <p>(3) 第 4 次定員適正化計画では、将来に向けての効率化と必要な職員数の確保が求められていますが、現実には業務量の増加や職員数不足が指摘されています。財政面での人件費抑制の必要性と、現場での業務負担の増加というジレンマについて、市長はどのように理解し、どのような対応策を検討されているか、ご所見を伺います。</p> <p>(4) 財政と人材確保のバランスを取るためには、業務の効率化や人員配置の最適化が重要だと考えています。</p> <p>①支出増加を抑制する施策として、業務の効率化や行政サービスの見直しが効果的であると考えますが、市長はこの点についてどのようにお考えか、また、具体的にどのような取り組みを進める予定か、ご所見を伺います。</p>			市長

②事業の優先順位を考慮し、必要性や効果が低い事業を廃止または縮小することで、無駄な支出を抑える、事務事業の廃止や縮小を検討することについて、市長はどのようにお考えか、また、具体的にどのような基準で事業の見直しを進めていくか、ご所見を伺います。

③限られた資源を集中させることで、重要なサービスの質を維持しつつ、住民が地域の課題解決に参加する仕組みを強化することで、行政サービスの一部を住民が担う住民参加型のまちづくりが、行政コストを抑えつつ地域の活力を引き出す上で有効だと考えます。この点について、市長はどのようにお考えか、また、具体的な取り組みについて、ご所見を伺います。

④人員配置の最適化を図るためには、長期的な視点で持続可能な人材戦略を構築することが鍵となると考えますが、市長はこの点についてどのようにお考えか、また、具体的な施策を検討されているか、伺います。

(5) 広域連携は、コストを分担しつつ広域的な経済効果を狙う財政対策として重要だと考えています。

①決算報告では、広域連携に伴う負担金や分賦金の増加が懸念材料として指摘されています。市長は広域連携の現状と将来的な展望についてどのようにお考えか、また、これらの負担が財政に与える影響をどのように捉え、どのように対応していくお考えか伺います。

②人口減少が避けられない現実を前提とした場合、隣接自治体との広域的な連携を強化することで、行政サービスの効率化やコスト削減を図ると同時に、広域的な視点での経済活性化やインフラ整備を進めることが重要だと考えています。これにより、地域全体の持続可能性を高めることが今後の市の財政運営において重要なポイントになると考えますが、市長はこの点についてどのようにお考えか、ご所見を伺います。

第 20 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 9 月 10 日

番号	12	質問者	日下 茂	タイトル	公園、市有地、PA の充実活用を
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	公園、市有地、 パーキングエ リアの活用	<p>(1) 朝来市内の公園(ポケットパークを含む)、病院跡地、パーキングエリアの現状</p> <p>①親水公園、農村公園、その他公園、都市公園は、地方自治法の規定を満たしているか</p> <p>(2) 活用、不活用の判断基準</p> <p>①活用できない公園の普通財産化を含め、活用計画を再構築すべきと考える</p> <p>②戦没者慰霊の平和公園設置の考えはないか</p> <p>③病院跡地、パーキングエリアの活用</p> <p>(3) 行政、地域または企業等を含み、活用を意見交換すべきでないか</p> <p>①管理、活用が不十分で、朝来市のイメージダウンにならないか</p> <p>(4) 総合運動公園の整備と交流人口拡大は考えないか</p> <p>(5) 通学路に憩いや癒しの公園が必要との声に耳を傾ける気はないか</p>			市長 教育長
2	朝来医療セン ターの医療体 制の充実	<p>(1) 構成市として、MRI は必要か。また、導入できない原因、現状をどう考えているか。</p> <p>(2) 南但医療圏確立に、朝来医療センターと八鹿病院、朝来市と養父市の情報交換が不十分でないか</p> <p>(3) 高度医療機器に医師の関心は高い、医師の確保、研修にも朝来医療センターに高度医療機器「ダビンチ等」導入を協議する考えはないか</p>			市長